

# やすき通信

2021 MOO!



訪問看護ステーション穩

2021年 新春号



～ 声が出るように、歌が歌えるように～



70代のAさんは弓部大動脈瘤の影響で嘔声が出現しました。

人口血管置換術後、嚥下障害・嘔声残存しており、VE検査時に左声帯麻痺の診断がありました。元々カラオケが大好きで「歌えるようになりたい!」と強い希望があり、言語リハビリが開始になりました。訓練内容は口腔機能訓練・発声訓練・音読訓練を実施しました。

少しずつ声が出るようになっていましたが、本人には自覚がなく、

「以前のように声が出ていない。全然出ていない…」と落ち込んでいました。

モチベーション向上の為に、好きだった歌を歌うことを提案しましたが「声が出らんから…」と拒否されていました。しかし、『声を出したい!!』という思いは強く、意欲的に自主訓練にも取り組まれており、前向きな声掛けを行いながら実施していきました。

3ヶ月の定期受診で主治医に、「声が出ていると言われた」と褒められたことを照れながら話してくれました。その後も「友達2人に声が良く出てるねって言われた」と笑顔で話され、今まで以上にリハビリ・自主訓練に取り組まれました。

担当医やご友人からの言葉で『声が出るようになっている』ことを意識され、歌うことに対しても前向きになられました。実際に歌唱したところ、声量を保ちつつ抑揚のある歌声で歌うことが出来ました。「おお!声が出てるね!」と、ようやくご自身でも声が出ていることに気付き、喜んで頂きました♪

現在は歌唱訓練メインで行っています。

今後もお好きな歌を満足して歌えるように、リハビリを行っていきたいと思っております。



言語聴覚士：松下 仁美

## 高齢者の歯を守る



要介護高齢者の口腔内環境  
ってどんな感じでしょう？



残存歯

多歯数の喪失があり、義歯が必要な状態であったり、  
齦歯や歯周病の状態であることが多い！

残存歯や残根歯のケアが不十分、義歯の不適合など  
は口腔機能、嚥下機能に影響を及ぼします

残根歯

残根歯とは根っこだけになった状態。  
食べカスが溜まりやすいため細菌増殖  
の温床となります。タフトブラシを使  
ってケアしましょう！



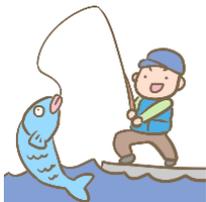
適切なケアが必要！歯科医との連携も重要！



看護師・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士：藤中雪子

久しぶりに釣りに行きました。

コロナでずいぶん延期になっていましたが、  
約1年ぶりに釣りにいきました！  
天候にも恵まれ、気分もリフレッシュ☆  
まだまだ自粛モードではありますが、  
ストレスを溜めないように息抜き方法  
を見つけていきましょう。



作業療法士：船原千寛



管理者ごだまの一言

明けましておめでとうございます。  
穏に来て2度目の新年を迎えることが  
出来ました。昨年よりコロナ禍の中、  
皆様不便な生活を強いられている事と  
思います。今年は明るい1年になることを  
願い、気を引き締めて皆様にご満足いただ  
けるようにスタッフ一同、心の伝わる  
サービスを提供してまいります。

管理者：児玉恵美子

医療法人優誠会 訪問看護ステーション穏(やすき)  
〒811-1314 福岡市南区的場2丁目37-2  
TEL：092-589-3011 FAX：092-589-3021